

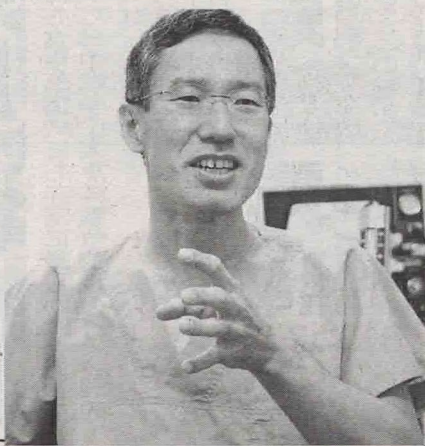
こころ あひ

インタビュー特集

加速する高齢化などを背景に、毎年1兆円を超える規模で増え続ける日本の医療費。健康と長寿を支えてきた「国民皆保険制度」の破綻が囁かれる中、病気になる身体づくりや再発防止といった「予防医学」の観点が重要になっている。平成15年のクリニック開設以来、さまざまな角度から予防の大切さを説き続け、多くの患者の健康増進に貢献してきた西宮市にある「中島クリニック」の中島敏雄院長に話を伺った。

(坂本 紀男)

中島クリニック 院長 中島敏雄さん



(なかじま としお) 兵庫県西宮市出身。慶應義塾大学医学部卒業、京都大学医学部大学院卒業。京都大学医学部付属病院、日本赤十字社和歌山医療センター勤務を経て、平成15年に中島クリニックを開設。京都大学医学博士、日本消化器内視鏡学会認定内視鏡専門医、国際渡航医学会ISTM専門医など多数の資格を持つ。日本内科学会、日本消化器病学会、日本肝臓病学会、日本消化器内視鏡学会所属。

「予防には一次予防と二次予防があります。一次予防は生活習慣の改善や予防接種など病気になるようにするもので、二次予防は胃カメラや大腸カメラなど病気の早期発見と早期治療を行うものです」と中島院長。なかでも胃の中にあるピロリ菌を取り除くことは胃がんになるリスクを大きく軽減するという。

「早い段階でピロリ菌を取り除けば、ピロリ菌がもともといなかった人と同じぐらい胃がんになりにくくなります。早期発見すればほぼ完治するがんなので、40歳を過ぎたら症状の有無に関わらずピロリ菌の検査、内視鏡検査を受けるようにしてください」

クリニックの評判を聞きつけピロリ菌の除去で来院する患者は、近隣はもとより近畿一円と幅広く。また、国際渡航医学会ISTM専門医の資格を持つ中島院長は、海外

ピロリ菌除去で胃がんリスク軽減を!!

に仕事で赴任する人へワクチンなどの感染症予防や現地での生活指導など、海外生活で悩むサラリーマンとその家族の心の支えになっていく。そのほか、小中学校でのたばこ健康の授業など予防医学の重要性を伝える活動や、日頃の診察室で患者から出された疑問をヒントに、具体的に役立つ対策を示しているHP上のブログも好評を博している。こうした中島院長の誠実な姿勢の基礎となっているのは、幼少時の

「予防の意識を持つことで避けられる病気がたくさんあります。ほんの些細な生活習慣の改善で、より健康的な生活が送れることを多くの方に知っていただきたいと思います」

爽やかにそう語る中島院長の

体験が大きいこと。「幼い頃は身体が弱く、風邪になる度に優しく診察してくれた近所の開業医に憧れました。私

だろ。中島院長の